

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	17-2
PDCA	主要事業名	老人ホーム入所事業	部課名	福祉部高齢介護課	担当	榊原健	
					内線	376	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 2 単位施策： 高齢者福祉 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 77,087 千円 会計 一般会計 歳出科目 03.01.02.13.50 3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円						
	事業概要等	事業概要： 環境上及び経済的な理由により、在宅での自立生活が困難な高齢者を養護老人ホームへ入所措置することで、生活を保障し、養護する事業。 また、養護老人ホーム入所者のうち、年間収入が90,000円未満の者に対し、生活支援のため月額7,500円の生活補給金を支給する。					
		事業目的： 環境上及び経済的な理由により、在宅での自立生活が困難な高齢者の生活を保障し、養護する。					
		事業内容： 養護老人ホーム等へ入所措置を行った場合に、その入所先へ措置に要する費用を支払う。					
		問題点・課題等： 入所者の高齢化が進み、介護のケアが必要な入所者が増えていく。					
	予算額	主要事業とする理由					
	77,087 千円	(3か年実施計画事業)					
	財源内訳	老人福祉法上、入所措置が必要な者について適切に措置を行う。					
	市費	得られる成果					
	64,090 千円	在宅での自立生活が困難な高齢者の生活を養護老人ホームで支えることができる。					
国費	目標値や目指すべき状態						
0 千円			令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	
県費	0 千円	半田養護老人ホームの入所者のうち半田市の措置者数	実績値	27	26	—	人
			目標値	—	—	—	人
	0 千円	その他、特別養護老人ホーム等への措置者数	実績値	0	0	—	人
			目標値	—	—	—	人
その他		実績値					
12,997 千円		目標値					
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	66,700 千円	関係機関等とケース会議を行い、入所が必要な者について適切に入所措置を行うことができた。					
		成果指標				令和3年度	単位
		半田養護老人ホームの入所者のうち半田市の措置者数	実績値	25	人		
			目標値	—	人		
		その他、特別養護老人ホーム等への措置者数	実績値	1	人		
			目標値	—	人		
		実績値					
		目標値					
	C 課題の整理	事業の評価・課題	B				
入所判定委員会における審査票を措置基準の項目に合わせた様式に改定したことで、措置の要否判定が明確となり、スムーズに判定を行うことができた。また、施設職員と密に連絡を取り合うことで、個別ケースの共有や課題の検討等の対応を迅速に行うことができた。							
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	現状維持					
		高齢者人口が増加する中で、入所の検討が必要なケースも増加すると思われるが、老人福祉法に則り、真に措置が必要な高齢者を判断し適切に事業運用を行っていく。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	削減余地	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用